

5. 今後の課題

環境保全・整備の方針を踏まえ、エリア毎の今後の課題をまとめる。

(1) 市民の森エリア

- ① 自然緑地に指定された樹林（4か所）を対象とした里山見本林の整備方法の検討
- ② 芝川沿いの重要種の保護。
- ③ 芝川の河川環境整備（定期的な土手の草刈り等）による良好な環境（チガヤ草地等）の創出。

(2) 大宮公園エリア

- ① 南中丸緑地公園を対象とした里山見本林の整備方法の検討。
- ② 大和田緑地公園と芝川をつなぐ形での草地、湿地等の環境整備。
- ③ 芝川沿いの重要種の保護。
- ④ 芝川の河川環境整備（定期的な土手の草刈り等）による良好な環境の維持。
- ⑤ 大宮公園の中で、大和田緑地周辺を生態系保全エリアと位置付けた公園計画の見直し検討（大宮第一と第二公園の間をとび石状につなぐ緑地の整備等）。

(3) 新都心東エリア

- ① エリア東部の植物の重要種が多く確認されている場所の水田生態系復元（加工米や古代米の作付奨励、ボランティアによる援農等による復田）。
- ② 芝川の河川環境整備（定期的な土手の草刈り等）。
- ③ 西高斜面林の人工林部分のコナラ林等への林相転換・里山復元。
- ④ 西高斜面林と芝川の間での耕作地にも一部水田生態系復元箇所を作る。
- ⑤ 谷戸の幅が広く、芝川沿いに首都高が通るため完全につながった形での谷戸の横断的生態系復元は困難であるが、出来る箇所から飛び石状に良好な環境をつくることで生態系の復元を図る。

(4) 中部エリア

- ① 公有地の水田生態系復元（加工米や古代米の作付奨励、ボランティアによる援農等による復田）。
- ② 市民病院北川斜面林の里山環境復元（ボランティアによる下草刈り等）。
- ③ 芝川沿いの重要種の保護。
- ④ 芝川の河川環境整備（定期的な土手の草刈り等）による良好な環境の維持。

(5) ふるさと中央エリア

- ① 染谷ふるさとの緑の景観地の里山植生復元・維持管理（ボランティアによる下草刈り等）。
- ② 他の点在する雑木林についても、所有者の協力が得られれば、下草刈り等の維持管理及び里山植生の復元を試みる。
- ③ エリア南部の谷戸において、水田生態系復元（加工米や古代米の作付奨励、ボランティアによる援農等による復田）を試みる。

(6) 七里・加田屋エリア

- ① NPO の活動により維持されている良好な水田環境維持のため、必要な支援等を検討する。
- ② 残存する斜面林について、緑地協定等による保全と里山植生復元・維持管理（ボランティアによる下草刈り等）。
- ③ 加田屋川上流部の矢板護岸区間の一部に、緩傾斜護岸などにより動物の移動経路を確保する。
- ④ 加田屋川及び見沼代用水沿いの重要種の保護。
- ⑤ 芝川の河川環境整備（定期的な土手の草刈り等）による良好な環境の維持。

(7) トラスト保全1号地エリア

- ① トラスト保全1号地周辺の重要種の確認された耕作地を中心に、水田生態系復元（加工米や古代米の作付奨励、ボランティアによる援農等による復田）を試みる。
- ② 残存する斜面林について、緑地協定等による保全と里山植生復元・維持管理（ボランティアによる下草刈り等）。
- ③ 加田屋川と芝川の合流点付近に、谷戸の横断方向につながるような樹林や草地を整備する。
- ④ 道路を横切る水路に、小動物が移動できる場所を確保する。
- ⑤ 芝川や加田屋川、見沼代用水沿いの重要種の保護。

(8) ふるさと東エリア

- ① 残存する斜面林について、緑地協定等による保全と里山植生復元・維持管理（ボランティアによる下草刈り等）。
- ② 自然緑地や保存緑地の指定検討や新たな緑地の創出検討。
- ③ 中央部を横断する道路について、エコトンネル（ボックスカルバート）等による動物の移動経路確保。

(9) 第1調節池エリア

- ① 調節池内の植生の維持管理（従来通り）による重要種の保全。
- ② 定期的な環境調査。
- ③ 他のエリアの生態系ネットワークが形成されてきた時点で、芝川沿いの緑地整備等を検討し、他のエリアとの生態的なつながりをもたせる。